

	対象範囲	2021年度		
		目標	実績	評価
地球温暖化防止	国内 クラレ グループ	【GHG ^{※1} 排出量削減対策量】 13千トン-CO ₂ 以上（対前年比）	【GHG排出量削減対策量】 30千トン-CO ₂ (対前年比)	☆☆☆
		【GHG排出原単位指数 ^{※2} 】 対前年比1%以上の向上	【GHG排出原単位指数】 対前年比7.7%の向上	☆☆☆
	海外 クラレ グループ	【エネルギー ^{※3} 原単位指数】 対前年比1%以上の向上	【エネルギー原単位指数】 対前年比0.3%の悪化	☆
化学物質の 排出管理	国内 クラレ グループ	【日化協PRTR物質排出量】 2016年度実績値(957トン) 未満に管理	【日化協PRTR物質排出量】 985トン	☆☆
	海外 クラレ グループ	海外生産拠点各国・地域の 化学物質排出規制を 遵守するとともに、 定量管理を継続する。	化学物質排出規制を遵守し、 定量管理を実施した。	☆☆
廃棄物の有効利用	国内 クラレ グループ	【廃棄物の発生量削減対策量】 2016年度発生量の 1%相当分(900トン)以上	【廃棄物の発生量削減対策量】 4,934トン	☆☆☆
		【埋立処分量】 2016年度実績値(251トン) 未満に管理	【埋立処分量】 655トン	☆
	海外 クラレ グループ	海外生産拠点各国・地域の 法的要求事項を遵守するとともに、 廃棄物発生量の削減、 定量管理を継続する。	法的要求事項を遵守し、 廃棄物発生量の定量管理を実施した。	☆☆
水資源の 有効利用	国内 クラレ グループ	国内クラレグループの立地条件に鑑み、 数値目標の設定はしないが、 できる限りの節水に努めながら 水使用量の定量管理を継続する。	節水に努め、 水使用量の定量管理を実施した。	☆☆
	海外 クラレ グループ	【水（海水除く）原単位指数】 対前年比1%以上の向上	【水（海水除く）原単位指数】 対前年比9.5%の向上	☆☆☆

※1) 温室効果ガス（Greenhouse Gas）

※2) 生産量原単位指数 = 換算生産量 / 環境負荷

換算生産量：基準年の各製品の環境負荷原単位を元に決定した換算係数を用いて各製品の生産量を基準製品の生産量として換算したものの。

※3) 海外クラレグループでは電力・蒸気のほとんどを外部購入しています。温室効果ガス排出量は供給元の排出係数の影響を大きく受けることから、海外クラレグループの環境保全活動を適正に評価するため、供給元の影響を受けない「エネルギー使用量」で評価することとしています。